

2022年1月11日

「大宮駅周辺グリーンインフラ公民連携プラットフォーム」の設立について ～「みどりとともにある大宮の豊かなライフスタイルの実現」を目指して～

武蔵野銀行（頭取 長堀 和正）は、2022年1月13日（木）、さいたま市などの参画団体・企業とともに、「大宮駅周辺グリーンインフラ公民連携プラットフォーム」（以下、「本プラットフォーム」という）を設立いたしますので、お知らせします。

本プラットフォームは、近年注目されている「自然環境が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力ある都市づくり・地域づくりを行う」という「グリーンインフラ」の考え方のもと、大宮駅周辺に関わる多様な主体が一体となり、都市としての価値向上・活性化や、豊かな生活空間形成を目指していくもので、具体的には、未来ビジョンの検討・策定や、その実現に繋がる複数のプロジェクトの企画・社会実験などに取組んでまいります。

当行は、大宮駅西口に本店を置く地元金融機関として、本店ビルをはじめとした拠点機能を活かした情報発信などに取組むとともに、地元事業者の皆さまと連携した地域課題の解決手法や、そのための資金調達方法の提案なども行ってまいります。

当行は今後も引き続き、地域経済・社会の活性化に向け注力してまいります。

《本プラットフォームの概要》

名称	「大宮駅周辺グリーンインフラ公民連携プラットフォーム」
設立予定日	2022年1月13日（木）
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーンインフラを活用した取組の推進 ・グリーンインフラの調査及び研究 ・グリーンインフラに関する広報活動 ・会員相互及び地域との交流促進 ・エリアプラットフォームの目的達成のために必要な事項
参画団体及び企業	<ul style="list-style-type: none"> ・株式会社 武蔵野銀行 ・株式会社 埼玉りそな銀行 ・株式会社 地域デザインラボさいたま ・公益財団法人 さいたま市公園緑地協会 ・一般財団法人 さいたま市都市整備公社 ・一般社団法人 アーバンデザインセンター大宮 ・さいたま市
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・2022年1月～本プラットフォームが目指す未来ビジョンの検討・策定 ・2022年4月～グリーンインフラを活用した社会実験の企画・実施 ・2023年度～ グリーンインフラを活用した社会実験の拡大 等

以上

報道機関からのお問い合わせ先
地域サポート部 地域価値創造室 岩崎 満範
TEL (048) 641 - 6111 (代)